

まだまだ力になれるはず!

シニアの「やる気」が、 “まちのキレイ”に貢献します



「中国ろうきん友の会」とは

勤労者や退職者の方が、生涯を通じて豊かで充実した生活を送っていただくために交流と親睦を深める活動をしています。さまざまな情報提供や地区のイベント、サークル活動などを通じて、みなさまのいきいきとした毎日を応援します。



<https://rokin-tomonokai.jp>

中国ろうきん友の会

検索



▲公園に集まった参加者のみなさん。ご夫婦で参加される方や足腰の鍛錬を兼ねて活動に取り組む方など、さまざまなメンバーが集結。
▶事務局長の号令で清掃スタート! しっかり休憩しながら、無理のない活動をめざします。



地域の環境改善をめざして、 できることからコツコツと!

3月11日(火)、東広島竹原地区ろうきん友の会による第2回クリーンボランティア活動が開催されました。第1回の「竹原市場的場海水浴場」に続き、今回対象となった清掃エリアは「東広島市西条中心部」。いま世界中で問題となっている“マイクロプラスチック”を少しでも減らすため、川に流れ出るプラごみを水際で回収し、プラスチックの回収と生産減を通じて、CO₂の削減に貢献するのが目的です。当日は総勢20名の友の会メンバーが集結し、西条中央公園を起点に酒蔵通りや西条駅周辺などを歩きまわり、目についたゴミを回収しました。一見キレイに見える街並みも、植え込みの中やゴミステーションの背後といった目立たない場所には、心ないポイ捨てゴミや「こんなものまで…」という廃棄物がいっぱい! 約1時間の清掃活動で15.4kgものゴミを回収できました。



草の茂ったところや
ゴミ捨て場付近は
隠れゴミに注意!



おいおい、
こんなものまで
捨てられてたよ!



まだ肌寒い3月、
ポイ捨てされた
凍結防止剤を発見



▲メンバーの意識の高まりが反映された回収成果。一見キレイなまちにもこれだけのゴミが潜んでいます。

▶事務局長の福光さん。「地域に貢献したい」というシニアの意向を今後も取組みに盛り込んでいきたいとのこと。



シニアの社会貢献意欲に応えて、 やりがいも魅力も深まった友の会

友の会の活動について、事務局長の福光秀明さんにうかがったところ、「当初は〈遊ぶ、学ぶ、動く〉をキーワードに活動内容を決めていたのですが、“もっと社会に役立ちたい”という会員の声を受けて、今年から〈貢献する〉という分野も加えました。クリーンボランティアはその第一歩となる活動です」とのこと。参加された会員の方からは、「まちがキレイになり、足腰の運動にもなり、一石二鳥!」というご意見や「まちの人から、“ごくろうさまです”と声をかけられ、気持ちが前向きになった」という声も聞かれ、活動内容はより魅力的なものへとブラッシュアップされたようです。実際、前回よりも参加者の社会貢献意欲は確実に高まっており、熱心にゴミを回収される姿がとても印象的でした。福光さんも「活動の幅を広げることで、より多くの方の参加につながり、活動のやりがいにもつながると期待しています」と手応えを感じていました。



第2回クリーンボランティアにあたって

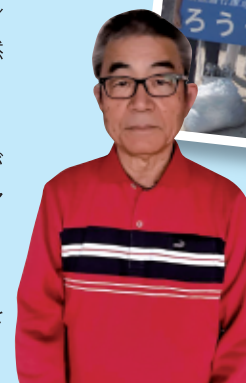
コロナ禍が落ち着き、内閣府などの高齢者の意識調査をもとに、高齢者がどんな活動分野に興味を持っているのかを検討しました。趣味やスポーツなど高齢者自身の嗜好性を優先する分野から、地域美化、伝統や文化、交通安全、環境保全・自然保護、ボランティア、NPO活動など社会性の高い分野へ活動領域を拡大できれば、この分野に興味がある会員の参加と会の活性化が期待できます。

クリーンボランティアは、まさにこの新しい分野の象徴であり、ほかの老人会ではまねができない、“中国ろうきん友の会らしい”取り組みだと思っています。クリーンボランティアはまだ2回しか開催していませんが、第2回目の参加者は初回を2割以上上回りました。

「遊ぶ、学ぶ、動く、貢献する」。楽しむときは楽しみ、学ぶときは真面目に勉強し、しっかり社会貢献をする。さまざまな会員の意識に合わせて、幅広い活動領域を持ち続けたいです。



▲ 海水浴場で行った第1回
クリーンボランティアの様子



東広島竹原地区
ろうきん友の会 会長
岩本 喜寿 さん